

2016年秋号

笑顔と心をつなぐネットワーク 明社通信

HEARTFUL

はーとふる

連載

『これから明るい社会づくり運動・3つの方針』活動紹介

茨城県・筑浦明社

連載 未来を創造する子どもたち
第7回 いのちがけで愛する保育

被災地レポート「わすれない、いつまでも」
第10回 福島県福島市 行政に代わって放射能を監視

ボランティアの広場 15周年記念植樹祭

2016年7月16日(土)開催



⑦参加者の記念撮影



④苗木を守るために稲わらを敷く



①植え方の指導をする石村章子 AFG理事長



⑧バーベキューで労う石村 AFG理事長



⑤稲わらが風で飛ばされないように縄で固定する



②ポットの苗を水に浸す



⑨植樹後のお酒はおいしいよ



⑥記念碑の除幕式を行う岩佐弘史筑波山神社宮司と福島宏枝筑浦明社副会長



③80人が参加

筑波山水源の森づくり



筑波山で生長した苗木

年月日	面積(m ²)	種類	数量	参加者数
2006 10/19	800	17	2,000	200
2007 4/22	1,500	17	3,000	360
7/ 9	1,700	17	3,300	200
9/22	1,300	17	2,667	260
2010 4/29	1,000	17	2,500	300
9/12	1,500	17	3,000	200
10/11	1,000	17	2,640	400
2012 6/ 3	1,000	18	2,000	250
2014 11/ 9	750	16	1,500	100
2015 9/06	500	16	1,000	90
10/18	500	16	1,000	84
合計	11,550		24,607	2,444

※主催:水源の森づくり実行委員会(AFGと明社が主導)

AFG圃場でのポット苗づくり



④除草作業



③水やり



①ポット苗づくりの準備



②ポット苗づくりの作業

これからの明るい社会づくり運動・3つの方針

—2014年の『全国都道府県会議』で発表した、本運動がこれから目指していく具体的な3つの方針—

- 1 地域のために活動している諸団体と連携し一緒に活動を行い、身近な問題に取り組む市民運動として展開していく。
- 2 行政等の実施する地域活動や催事に積極的に参加し、行政との信頼関係を築いていく。
- 3 地域に合ったさまざまな活動をきっかけに、地域社会に貢献したいという願いをもった個人・団体へ積極的に呼びかけ、善意の実践の場を提供していく。

これら方針に基づく活動を今後も紹介していきます。

植樹祭実施にあたっては、事前に下草刈、大型重機による開墾、苗の運搬や分類、班分け、植栽地への施肥や地ならしなどの準備作業が必要となります。写真は、植栽地の最終整備に汗を流す筑浦明社の皆さん。

ボランティアの広場 植樹祭に向けて

2016年7月2日(土)開催

